各種計画評価シート　　No. ３２

主管課：係名	学校教育課　：　学校施設係
計画名称	昭和町学校施設等長寿命化計画
策定の趣旨 （目　的）	学校施設等を総合的観点で捉え、中長期的な維持管理等に係るコスト縮減や平準化を図りつつ学校施設等に求められる機能性能を確保することを目的とする。
計画期間 〔策定年月日〕	令和２年度～令和４１年度 〔令和２年３月策定〕
総合計画、法令等の位置づけ	・策定の根拠となるもの 国の「インフラ長寿命化基本計画」及び「昭和町第６次総合計画」に基づいた本町の「公共施設等総合管理計画」を指針とする。
計画の概要	・主な内容（特徴、予算、その他） 本計画の基本的な方針は以下のとおり。 ◎施設の長期活用 ◎施設の機能や規模の適正化 ◎コストの縮減と平準化
	・計画策定体制（計画を策定した組織・機関とプロセス） 「昭和町公共施設等総合管理計画」における基本方針等を踏まえ、学校施設等整備の基本的な方針を設定。
	・策定時の町民意見聴取手法 パブリックコメント
	・計画推進体制（計画を推進する組織・機関とそのプロセス） 日常的な劣化箇所の把握や施設運営の課題発見は各校と教育委員会が連携を図るとともに、学校等の関係者が情報を共有し、修繕等に適切に対応する体制の整備を行う。
	・目標設定の有無（数値目標の有無） 長寿命化が可能な施設は、築８０年まで使用することを目標とする。

	・評価方法 事業の進捗に応じ、実施内容の把握と施設の劣化状況を調査、再評価し計画の見直しを行う。
主な施策と進捗状況	進捗状況（令和７年度末現在） ５年間の整備計画において、押原中学校屋上防水修繕（令和２、３年度）、常永小学校増築（令和３年度）が完了している。また、押原中学校では令和４年度に増築準備工事、続いて令和５年度に増築棟の建設工事を実施した。
未執行の施策と執行できない理由 〔課題 A〕	長寿命化改修および大規模改造については、学校体育館 LED 化工事、学校体育館空調設備設置工事等により予算確保が困難なため、他の事業との調整の後に内容を検討していく。 工事の予算確保に向け、補助金の活用を検討していく。しかし、学校の補助金が利用できない施設もあり、どのような補助事業があるか調査している。
今後の計画の進め方 〔課題 A の解決策〕	施設の修繕、改修の周期は築４０年に長寿命化改修、築２０、築６０年に大規模改修を実施することを原則する。具体的な修繕・改修時期の設定にあたっては、各施設の建築後の経過年数に応じて検討。 各施設の調査業務を実施するにあたり、専門知識が必要であるため整備計画により随時外注していく。
総合的な自己評価	**計画全体の総合評価　〈　C　評価〉** ランク分け　Ａ＝達成できた　Ｂ＝概ね達成できた　Ｃ＝一部達成できた　Ｄ＝ほとんど達成できていない **※上記評価となった理由** 長寿命化改修および大規模改造において、押原中学校の増築棟の建設工事もあったため当初計画からの遅れがみられるが、部分的な改修工事や随時の維持工事は実施している。 中学校の改築工事、４校のＬＥＤ化なども必要であり、設計業務は発注、完了している。今後は町予算との兼ね合いもあるため、発注計画については特に検討が必要である。

※参考資料がある場合は添付すること。